

平成三十一年一月 年頭の挨拶

鹿屋の風を全国へ

鹿屋体育大学長 松下雅雄

新年明けましておめでとうございます。旧年中は鹿屋体育大学を応援、ご支援いただき誠にありがとうございました。

平成三十一年は千支の十二番目である亥年になります。亥年は、今の反映している状態を維持するように守りに徹したほうが良い年とされているそうです。しかし、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が翌年の八月、そして、ここ鹿児島県では国民体育大会が十月に開催されます。今年は鹿屋体育大学にとって、亥が皆様ご存知の動物の猪であるように、時には猪突猛進で進むことが必要な年であるかもしれません。

二〇二〇年に向け勿論のこととして期待もされるでしょうが、体育を専門とする本学として教育研究の成果を發揮するときであると考えます。

本学では、オリンピック・パラリンピック教育として、平成二十六年から国際スポーツアカデミー事業を毎年開催し、主にアジア諸国の将来のスポーツ推進者となる若者を対象としたオリンピックムーブメントの普及に取り組んでおります。

また、平成二十七年から大学にオリ・パラ戦略推進室を設置し、オリ・パラ推進事業としての学生リーダー育成事業、及び、地域住民へのオリンピック・パラリンピック啓蒙活動として「障害者サッカー」や「オリンピックと野球」などの公開講座を開講。さらに、地元自治体と連携・協力し、オリンピック事前合宿の誘致に積極的に取り組み、そ

の成果として、鹿屋市はタイ王国女子バレーボールチームのホームタウンとして事前合宿地となる覚書を交わすことにつながりました。

平成二十七年に設置されたスポーツパフォーマンス研究センターでは、陸上競技や野球を中心に年間四十数名のオリンピックアンやトップ選手の測定・分析を実施しています。今後はさらに、従来から日本のトップ選手らが訪れ測定・分析を行ってきた屋内実験プール、スポーツトレーニング教育研究センターにこのスポーツパフォーマンス研究センターも加え、オリ・パラや国体の競技力向上に向けた科学的なトレーニングへの情報を提供できるように取り組みたいと考えます。

選手強化としては、体操競技、自転車競技、陸上競技及び剣道などにおいて在学生や卒業生の国際大会でのメダル獲得や入賞としてその成果が着実に發揮されました。この勢いで二〇二〇年に向けて、在学生だけでなく、卒業生も一丸となった「オール鹿屋体育大」で頑張ってまいりたいと思います。

昨年四月に、この鹿屋の地で「地域に密着したスポーツ文化の発展を願う鹿屋市と創設したブランド「Blue Winds (ブルー・ウィンズ)」も二年目を迎えます。南国の青い空や海、風をイメージし、大学のスクールカラーと勝利(ウイン)をかけたブランド名とともに鹿屋のこの風が全国へ吹いていくよう、日本におけるスポーツの発展のため、体育専門の大学として教育・研究・社会連携に積極的に取り組んで参ります。

本年もご指導、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。